



ロシアNIS経済速報

社団法人 ロシアNIS貿易会

2011年（平成23年）7月25日号 No. 1535

目次

■ 2011年1～6月のロシアの鉱工業生産	1
—自動車部門が全体を牽引—	
■ トピックス	6
新潟・ウラジオストク線が運航を再開／6	
新潟東港・ザルビノ港の新航路8月から／6	
JA全農とっとり、県産果実をロシアで販売／6	
■ エトセトラ	6
アゼルバイジャンにおける国家検疫庁の入札公示／6	
『調査月報』2011年8月号のご案内／7	

2011年1～6月のロシアの鉱工業生産 —自動車部門が全体を牽引—

はじめに

ロシア連邦国家統計局は今般、2011年上半期（1～6月期）の鉱工業生産実績を発表した。2011年1～6月期のロシアの鉱工業生産は、前年比5.3%増大した。ロシアの最重要産業である石油生産はそれほど振るわなかったが、自動車産業が大幅な増産を記録しており、これが全体を牽引している。

今回の速報では、統計局発表の2011年上半期のロシアの鉱工業生産動向を、図表にまとめて掲載するとともに、若干の解説をお届けする。

* * * * *

まず、鉱工業生産を含め、上半期の主要経済指標がほぼ出揃っているため、それを表1にまとめた。ただし、GDPに関しては、上半期の数字が発表されるのはまだだいぶ先になり、表1に示したのは第1四半期（1～3月期）の数字である。

さて、鉱工業生産につき、より詳しく見ていこう。ロシアの鉱工業生産水準は、リーマン・ショックの影響を受け、2008年暮れから2009年初頭にかけて激しく落ち込んだ。しかし、図1に見るとおり、それ以降は一貫して回復傾向にあり、2011年に入ってから2008年平均の生産水準を上回りつつ、増大基調で推移している。